

あつぎ市議会だより

第220号 発行日/平成26年2月1日 発行/厚木市議会 編集/広報広聴特別委員会 〒243-8511 神奈川県厚木市中町三丁目17番17号 ☎046(225)2700

12月定例会

客引き行為等防止条例など14議案を可決

一般質問 福祉・環境・教育などを論議

12月定例会は、11月28日から12月20日までの会期23日間で開かれました。
市長から初日に提出された議案は、条例の制定・改正、工事請負契約の変更、指定管理者の指定のほか、一般会計補正予算、公共下水道事業特別会計補正予算の14議案で、質疑終了後、上程された陳情とともに所管の常任委員会に付託されました。

本会議第2日から第4日までの3日間、議員19人が登壇し、一般質問が行われました。
また、休会中に各常任委員会が開かれ、付託された議案や請願・陳情に対し、慎重な審査が行われました。
最終日、各常任委員長の審査結果報告の後、5会派による討論が行われ、採決の結果、全議案を原案どおり可決しました。

条例の制定

可決した条例の制定議案は3件です。

「厚木市客引き行為等防止条例」は、公共の場所において、市民に不安や迷惑をかける客引き行為などを防止し、市民が公共の場所を安心して安全に利用できる生活環境の確保を図るため、制定するものです。

「厚木市里地里山保全等促進条例」は、里地里山の保全および活用についての基本理念を定め、市や土地所有者など、里地里山活動団体および市民の役割などを明らかにするとともに、里地里山の保全などを促進するために必要な事項を定めることにより、里地里山の多面的機能の発揮および次世代への継承を図り、もって市民の健康で心豊かな生活の確保に寄与するため、制定するものです。

「厚木市立あつぎ市民交流プラザ条例」は、市民の生涯学習および文化芸術に関する活動の場

や、子どもおよび保護者の集いの場を提供することにより、多様な世代の交流の促進を図り、にぎわいあふれるまちづくりの推進に寄与する施設を設置するため、制定するものです。

条例の改正

可決した条例の一部改正議案は6件です。

「厚木市立情報プラザ条例」の主な改正内容は、厚木市情報プラザの管理を指定管理者から市長に改めるほか、所要の措置を講ずるため、改正するものです。

「厚木市立子ども科学館条例」の主な改正内容は、厚木市子ども科学館の自主事業などに活用できるように、厚木市ヤングコミュニティセンターの施設であるホール250を厚木市子ども科学館の施設とするため、改正するものです。

「厚木市自転車の放置防止に関する条例」の主な改正内容は、放置自転車の移動および保管に要した費用を徴収するため、改正するものです。

「厚木市公共下水道使用料条例」の主な改正内容は、公共下水道の使用料を改めるため、改正するものです。

このほか、法律の一部改正に伴い、「厚木市市営住宅条例」「厚木市学校事故見舞金条例」を改正するものです。

工事契約の変更

可決した工事請負契約の変更議案の内容は、(仮称)あつぎ元気館(中町二丁目12番15号ほか)整備事業に係る設計・施工業務に関し、昨年3月に議決済みの契約(議案第2号)について、市民の利便性の向上や、より魅力的な商業施設を目指すため、商業フロアの一部改修工事や、トイレの全面改修工事などを追加するため、工事請負契約の契約金額を「22億9215万円」から「24億7140万1800円」に変更するものです。

指定管理者の指定

可決した指定管理者の指定議案は2件です。施設の名称、指定管理者、指定期間は次のとおりです。

◇厚木市ふれあいプラザ
「ふれあいプラザ共同事業体(シンコースポーツ株式会社)「構成員代表者」
「東京都台東区台東一丁目27番1号)。指定期間は、平成26年4月1日から30年3月31日まで。

◇厚木中央公園地下駐車場
「タイムズ24株式会社連合体(タイムズ24株式会社)「構成員代表者」
「東京都千代田区有楽町二丁目7番1号)。指定期間は、平成26年4月1日から31年3月31日まで。

2面下段に続く



新春の空を彩った消防団の一斉放水(消防出初め式)



今定例会では、19人の議員が3日間にわたり一般質問を行い、市政全般の施策について市長などの考えをたずねました。主な質問と答弁の要旨を紹介します(掲載は質問順)。

伸び続ける社会保障費の縮減策は

あつぎ市民の党 沼田 幸一議員



問 伸び続ける社会保障費の縮減策として、特定健康診査の受診率を上げる工夫はあるか。

答 市民健康部長 他部署の例を参考にし、特定健康診査を受けてよかったなどの体験談も盛り込んだ形で工夫できないかという視点を持ちながら進めていく。

問 健康に関する意識が高まるようなポイント制を進めてはどうか。

答 市民健康部長 楽しみをもちながらの健康づくりは、自らの健康づくりを意識する最高の手段であるため、検討を進めている。

●職員の採用と配置

問 インフラの老朽化の問題もあり、これから



平成25年の火災件数は63件で、前年に比べ6件増加。救急出動件数は、5年連続で増加している

は土木職員がもつと必要になってくる。現在は人数が少なく、年齢も偏りがあるがどうか。

答 総務部長 年齢構成が若干バランスを欠きつつあるので、今後、時間をかけてバランス調整していきたい。また、採用年齢を若干上げ、民間経験とキャリアがある職員を即戦力となるような形で採用していきたい。

問 消防職員は、何年も定数が変わっていないが、業務量は増えていることをどのように考えているか。

答 消防長 財政状況などを勘案して増員などの判断をしていきたい。

問 こちらは減らしてこちらを増やそうというバランスを考えて採用していく発想はないのか。

答 宮台副市長 仕事の内容が複雑多様化している中で状況は変わっていくので、状況を的確に捉えながら適切な配置に努めていきたい。

社会保障サービスの将来性についての考えは

改革あつぎ 徳間 和男議員



問 社会保障サービスの将来性をどのように考えているか。

答 市長 高齢社会の進展に伴い社会保障費の増加が避けられない一方で、市税などの財源には限りがある。そのため、国の社会保障と税の一体改革の議論を踏まえ、時代に即した制度を検討する必要がある。

問 税収減の終わる時期が見えない状態にあるか。

答 市民健康部長 現在の国では社会保障と税の一体改革の議論がなされている。介護保険などでも、全国一律のサービスのほかに、市独自で行っている事業もあることから、議論を踏まえて、精査していく必要があると思う。

国民健康保険制度の今後の想定は

あつぎ市民の党 奈良 握議員



問 10年後の国民健康保険制度を想定しているか。

答 市長 平成29年度を目途に都道府県が運営主体になることなどを国は閣議決定した。必要措置が講じられると後期高齢者医療制度と同様な形になると想定される。

問 保険料の平準化による加入者への影響など不透明な部分もあるため、県との調整の場で慎重に協議を進めていきたい。

問 保険料負担がどうなるかの見通しは。

答 市民健康部長 保険料を決める際、各市町村では、激変緩和などを加味して、一般会計から

の繰入金金を操作しているため、厚木市は神奈川県内で平均より低いですが、平準化された場合、上がるとは一概に言えない。



処方された薬の名前や飲む量、回数などを記録するお薬手帳。自分の薬の情報を正確に伝えることができ、災害時などでも役立つ

●相談などへの対応
問 市民からの相談やクレームへの対応は。

答 総務部長 今までの行政として常識だったものを相談やクレームによって、変えていかないとはいえないこともある。市役所の常識を相手に押し付けることがないよう、相手の立場に立った相談を行いたい。

●長期的な都市構想
問 厚木市の将来の都市構想として、例えば50年後、このようなまちに金額である。市民の生命と健康を守る視点で、制度的な問題も加味して、繰入金を要求したい。

お薬手帳
問 川崎市とソニーが共同で電子お薬手帳を始めたが、厚木市はどうか。

答 市民健康部長 研究できるのであれば、乗り遅れないようにしていきたい。

補正予算

可決した補正予算議案は、一般会計と公共下水道事業特別会計の2件です。

一般会計補正の主な歳出の内容は、地域密着型サービス事業所の整備および開設準備を支援するため、介護基盤緊急整備等補助金および施設開設準備経費補助事業費を措置するほか、酒井下津古久線の用地取得および補償にかかる経費や、公民館維持補修事業費の増額などを定めるものです。

公共下水道事業特別会計補正の主な内容は、平成26年度における委託などの早期着手を図るため、4事項について、債務負担を設定するほか、公共下水道接続点水量調査委託経費の限度額の変更を行うものです。

一般会計は、既定の歳入歳出予算に2億2364万5千円を追加し、補正後の予算額は728億3214万9千円になりました。

主な内容

- ◆一般質問 2～6面
- ◆広報広聴特別委員会 3面
- ◆委員会の審査 7面
- ◆市立病院特別委員会 7面
- ◆本会議の審議結果 8面

1面から続く

生活保護基準改定が他制度に及ぼす影響は

日本共産党 栗山 香代子議員



問 生活保護基準改定の他制度への影響をどのように試算しているか。

答 市長 各制度の内容によって影響が生じる可能性があるため、平成26年度予算編成の中で把握に努めていく。

問 要保護および準要保護児童・生徒について、26年度はどのように考えているか。

答 学校教育部長 改正前の基準額を視野に入れ、影響を及ぼさないようにしたい。

●市民参加の手續き

問 パブリックコメントの実施には職員にも労力が掛かる。ある程度選択したり、簡略化したりする方法を考えてはどう

か。

答 政策部長 厚木市市民参加条例は施行からそれほど時間がたつておらず、市民が入った組織が条例の運営をチェックしている。もうしばらく状況を見て、必要があれば検討していきたい。

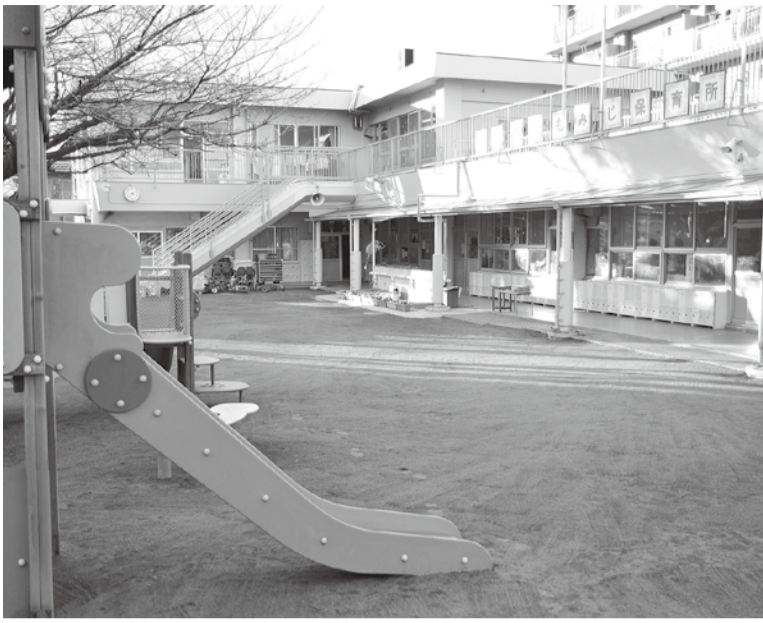
●公立保育所民営化

問 実施計画案のパブリックコメントの結果は。

答 こども未来部長 既に計画に盛り込まれているもの3件、今後の参考にするもの4件、その他の感想や質問が3件あった。

問 その他の感想や質問の内容は。

答 こども未来部長 公立保育所では安心して



平成27年度から民営化が予定されている市立もみじ保育所

子どもを預けることができたが、民営では市の責任がなくなるのではないかなどの意見があった。

問 今後、計画を見直す機会が必要ではないか。

答 宮台副市長 社会情勢など状況の変化が見込まれるため、一定の期間で見直しをすることは必要かと思う。

一般質問

主な質問と答弁



高齢社会に向けた取り組みは

日本共産党 釘丸 久子議員



問 高齢化の状況は。

答 政策部長 11月1日現在の厚木市の高齢化率は20.7%で、郊外の大規模な住宅団地では、かなり高齢化が進んでいる。

問 郊外型団地における高齢化による問題は。

答 政策部長 多くの高齢者の希望である近場で生活環境を整えることが難しいことである。

問 高齢社会に向けた短期的な取り組みとして内部の検討委員会で検討している内容は。

答 福祉部長 権利擁

護関係の取り組みや買い物困難者に対して具体的な何ができるか、社会福祉協議会などと連携した中で見守り体制をどのように組むかなどである。

問 団地高齢化対策として、広島市では、住宅団地がどのような状況にあるか、地区カルテを作つて地域の特性を図や表にした。厚木市でも、団地住民の生活に特化した検討をしてはどうか。

答 政策部長 地域の実態について把握した上で、対策を考えなければ

ならないと感じている。

●介護保険事業

問 特別養護老人ホームの待機者約6000人の状況は。

答 福祉部長 約200人が施設に入所し、約400人が居宅サービスを利用して在宅で生活を送っている。

問 施設入所の場合の保険外を含めた月々の費用は把握できているか。

答 福祉部長 保険外かどうかの検証はしていないが、グループホームの例では、サービス利用料以外の目安は8万円から11万円とのことである。

広報広聴 特別委員会から

「市民の皆様と情報共有化を図り、開かれた議会を推進する」。このような目的で、年に2回、予算・決算審議後の時機を捉え、議会報告会を開催しています。

報告会では、意見交換の場で要望なども伺っており、参加された皆さまからは、さまざまな建設的なご意見ご要望が出されております。第4回議会報告会は、2日間で4会場行

「市民の皆様と情報共有化を図り、開かれた議会を推進する」。このような目的で、年に2回、予算・決算審議後の時機を捉え、議会報告会を開催しています。これからも限られた時間の中で、より身近な話題を取り入れた報告会が開催できるように、工夫を重ねてまいります。最寄りの施設で議会報告会が開催される折は、ぜひご来場ください。(井上敏夫)

都市農業支援センターを開設する考えは

あつぎみらい 神子 雅人議員



問 JAあつぎ、農業委員会と市が合同で事務をする組織として、都市農業支援センターの設置に向けた取り組みの状況は。また、課題はあるか。

答 環境農政部長 3者で行う都市農業対策研究会の会議を今年度10回以上開催し、新たな組織を立ち上げるための基本方針の骨子作成に向けた検討を進めてきた。その骨子では、農業を取り巻く環境の変化から目指すべき姿の検討のほか、担うべき業務内容や運営体制などを素案としてま

とめている。今後、3者それぞれが別の組織であることから、個々の機関で新たな組織を立ち上げる決定が必要である。市においては、経営会議に諮り、2月定例会以降に3者協定を締結し、組織を発足できるように進めていきたい。

●緑内障の節目検診

問 早期発見、早期治療により、進行を止めることで、経済的、社会的にも生活を豊かにする効果は、計り知れないと思う。緑内障の節目検診を導入する考えはないか。

答 市長 早期発見、早期治療が大変重要であること認識している。導入には、検診事業全体を見据えながら研究していく。



子育て支援の待機児童解消加速化プランの取り組みは

神奈川ネット 内川 由喜子議員



問 国の待機児童解消加速化プランでは、小規模保育が地域型保育給付として位置付けられ、市町村の実情に合わせた認可をすることが可能となる。平成27年度から子ども・子育て支援新制度が始まるが、小規模保育をどのように取り入れるか。

答 こども未来部長 待機児童のほとんどが0歳から2歳児なので、非常に重要な部分を担うことになる。認可保育所を補完する中で確保することになるので、必要量

に定額認定していきたい。

●一時預かり事業

問 就労の有無にかかわらず、子育てに不安を抱える家庭などへの支援が重要である。新制度では、十分な質を確保しつつ、利用の確実性の担保が求められるが、具体的な対策の考えはあるか。

答 こども未来部長 特に、預けていない母親のリフレッシュについては、子育ての大変さや虐待防止を含め、受け止めなければいけないと認識しているため、現在と同様、認可保育所や小規模

保育所に不安を抱え、支援を必要とする子どもが増加している状況で、適時適切な療育支援が求められている。今後は、市民による児童発達支援在り方検討委員会から「厚木市の療育支援の在り方についての提言書」をいただいたので、現状の課題解消および将来像の施策に反映できるよう努める。



条例制定後の 取り組みは

民主クラブ 名切 文梨 議員



問 厚木市自転車安全利用促進条例の上程時には、セーフコミュニティの理念に基づきとあった。セーフコミュニティは事故を未然に防ぐため、それまでの事故を科学的に検証し、統計分析して、根拠ある安全対策を講じる点の特徴である。過去の総務企画常任委員会では、本市の自転車事故は年間300件を超えているとの説明があった。自転車生活に優しいまちづくりが急務とのことであったが、セーフコミュニティの理念に沿った道路施策をしているか。

答 道路部長 できるだけ自転車と歩行者の事故をなくす観点から、警察と協議しながら今後煮詰めていく。

●職員の適正配置

問 ホームページによると、神奈川県所管の児童相談所の虐待相談件数は、厚木管内が最多である。本市の相談窓口職員数は5人、同じ人口規模の大和市は12人と大きな乖離があるが、県からの指導は受けているか。

答 こども未来部長 指導は受けていないが、年々相談が増加しているので、体制は考えていく。

●学校給食

問 平成20年の学校給食では神奈川県産の米を100%使用していた。現在は、地場産の米の生産量が落ちているわけではないのに、東北産など他県の米を随分使用している。地産地消の考えはあるか。

答 教育総務部長 供給体制を整えれば、学校給食で地場産の米を使うことはやぶさかではない。

福祉避難所の位置付けと 整備状況は

公明党 遠藤 浩一 議員



問 災害対策基本法改正に伴う福祉避難所整備への影響は。

答 危機管理部長 災害時に設営、運営ができる福祉避難所を整備することで、地域防災計画を修正し関係部署と協議してきた。総合福祉センターは、福祉避難所として位置付けられるか協議してきたが、災害対策基本法の改正により、人的確保や施設整備に問題があることから、再度関係部署と早急に協議する必要があると認識している。

●振り込め詐欺対策

問 本市での平成25年1月から11月までの振り込め詐欺の被害状況は、24年と比べ、件数は4倍、被害額は2700万円増加している。被害の未然防止の啓発など、対策への取り組みは。

答 危機管理部長 啓

本市の目指す 療育支援の在り方は

公明党 寺岡 まゆみ 議員



問 平成25年8月に厚木市児童発達支援在り方検討委員会が設置され、長時間の慎重な協議の後、提言を受けたが、今後の具体的な施策は。

答 福祉部長 地域支援部門は、保育士などに

問 平成25年8月に厚木市児童発達支援在り方検討委員会が設置され、長時間の慎重な協議の後、提言を受けたが、今後の具体的な施策は。

答 福祉部長 地域支援部門は、保育士などに



現在、障がい児に専門的療育を行う通所事業が実施されている「ひよこ園」

を拡大し、発達に不安のある18歳未満の児童とその保護者に支援を行う。また、児童の行動観察と具体的な助言が行える親子サロンの整備し、経過観察により療育の専門的な支援が必要か否かを判断する場につなげる。児童発達支援センターは、児童福祉法に定める要件、設備内容をクリアできるような整備するが、総合福祉センター改修計画の確定段階で位置付け、時期を明確にする。

問 療育機関へ通所できない在宅の重度障がい児は、ほぼ24時間家族が介護しているため、非常に負担が大きい。新たな支援はあるか。

答 福祉部長 厚木市立病院と連携し、ショートステイの支援の幅を広げるため、平成26年度予算を要求する。

●生産緑地の管理状況

問 生産緑地は納税猶予などが受けられるが、適正に管理されているか。

答 まちづくり計画部長 現況調査を実施し、生産緑地として維持できていないものは、平成15年が15件、17年が3件、23年が15件あり、これらに対して指導した。

委員会の行政視察

各委員会では、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。

このほど実施した広報広聴特別委員会の行政視察は次のとおりです。

◆広報広聴特別委員会

11月5・6日、議会報告会について(徳島県小松島市)

議会用語 解説

■付託

本会議の議決を要する事件について、詳しい検討を加えるため、所管の常任委員会などに審査を委託すること。

■審議と審査

本会議で付議事件について説明を聞き、質疑し、討論をし、表決する一連の過程を審議といいます。一方、委員会において議案などについて議論し、一応の結論を出す過程を審査といいます。

■表決・採決と議決

個々の議員が議案や請願・陳情などに対して賛成、反対の意思表示をすることを表決といい、通常、出席議員の過半数で可否を決します。なお、議長には可否同数のときの裁決権がありますが、議員としての表決権はありません。表決が個々の議員の側からの表現であるのに対し、議長の側から議員に賛成、反対の意思表示を求め、集計することを採決といいます。

この表決の結果、得られた議会の意思決定を議決といい、議決の種類には可決、否決、承認、同意、採択、趣旨採択、不採択などがあります。

■みなし採択・不採択

同一会期中において、すでに同一趣旨、同一目的の議案または請願・陳情が議決されている場合の請願・陳情について、すでになされた同一趣旨、同一目的の議案または請願・陳情の議決の結果により、採択または不採択とみなして処理する取り扱いのことをいいます。

■請願・陳情の採択、趣旨採択

請願・陳情の内容について、願意が妥当で法令上、行財政上実現性もあるような場合には、議会として賛同することになり、議会の意思決定は、請願・陳情を採択する方法によりなされることとなります。また、願意は十分に理解できても、市の財政事情などから、当分の間は願意を実現することが不可能である場合などに、便宜的に「趣旨には賛成である」という意味の議決をすることがあり、その趣旨のみを取り上げることから、これを趣旨採択と呼んでいます。

■継続審査

議会で審議する事件の中には、その性質や内容などから審議に時間を要し、会期中に結論に至らないことがあります。この場合、本会議で承認されれば、閉会中も引き続き審査することができるとされており、これを継続審査といいます。「会期中に議決に至らなかった事件は、後会に継続しない」とする会期不継続の原則の例外をなすものです。なお、議会が解散した場合や議員任期が満了した場合には、継続審査事件は審議未了、すなわち廃案となります。

委員会の審査

条例・補正予算など

—主な質疑と答弁—

条例の制定・改正や補正予算の議案について、常任委員会での主な質疑と答弁を紹介します。

総務企画

○厚木市客引き行為等防止条例について

問 第2条第1号で駅も公共の場所となっているが、この条例が適用される上で、法的に問題はないか。

答 駅構内やホームなどは、公共の場所と考えている。また、神奈川県迷惑行為防止条例などでも、駅のホームなどで犯罪行為が行われれば、取り締まりの対象となるので、同様に本条例を適用しても問題ないと考える。

問 特定地区の指定や変更、解除の基準は。

答 特定地区は、本厚木駅周辺の商業地域を中心に客引きが出ている場所や、出そうな場所などを勘案して、指定をしていきたい。また、客引きが出ない場所などは、解除を考えていく。

問 神奈川県と厚木市の条例の違いは。

答 本市の条例では、県の条例で規制されていない営業も規制対象としている。また、県の条例で訓示規定となっている違反行為に対して、本市の条例では、罰則を設けることなどである。

○厚木市自転車の放置防止に関する条例の一部を改正する条例について

問 今まで移動保管料を徴収しなかった理由は。また、市が負担していた1台当たりの移動保管料は。

答 平成24年7月に中町2丁目自転車駐車場を開設し環境が整ったが、まだ放置自転車がある。さらなる対策強化を図るため、移動保管料を2千円徴収することにした。また、1台当たりを要していた移動保管の経費は、職員の人件費を除き、約3700円である。

問 移動保管料の2千円は、他市と比べてどうか。

答 県内19市中、15市で移動保管料を徴収している。そのうち、最多の6市が2千円を徴収して

おり、近隣市などを勘案して2千円とした。

市民福祉

○厚木市子ども科学館条例の一部を改正する条例について

問 サイエンスホール250の使用料を、1時間当たり700円とした理由は。

答 現在のヤングコミュニティセンターのホール250の料金と同一金額としている。

問 ホール250が子ども科学館の施設となることで、どのように利用するのか。

答 天井が高く広いスペースが子ども科学館の施設の一部となることから、ヘリコプターや竹とんぼを飛ばすなど、ホールの高さや広さを利用した事業を進めていきたい。

問 ホール250が子ども科学館の施設となることで、貸館として使用している状況に変わりはあるか。

答 子ども科学館の事業で使用する場合以外は、今までどおり市民の皆さまに使用していただける。

○平成25年度厚木市一般会計補正予算(第7号)所管科目

問 認定あつぎ保育室補助金の内容は。

答 認可外施設のうち、認定あつぎ保育室について、認可の基準まで引き上げるよう支援するものである。

問 2施設が認可に移行を予定しているということだが、どのくらいの定員増となるか。

答 約30人増員される予定である。

問 施設開設準備経費補助金について、施設数や定員の変化は。

答 小規模多機能型居宅介護は、2施設50人から3施設75人になり、グループホームについては、10施設156人から12施設192人となる。

問 下水道運営審議会では、全体の不足分を考えると3割近く値上げしないと賄えないという話があったと思うが、どのくらい値上げをすればよいのか。また、今回の改定により、どのくらい充当できるのか。

答 下水道運営審議会には、使用料不足は3年で24億8千万円ほどとなり、現在、一般会計繰入金で賄っている約17億円が担保されると見込んだ場合、9・92%の改定率であれば、解消できるという算定結果を伝えられた。また、使用料はこの改定率によると、単年度で約2億6千万円の増収が見込まれる。

環境教育

○厚木市里地里山保全等促進条例について

問 県の条例との整合性は意識しているか。

答 現在は、神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例で、七沢地区が里地里山保全等地域に選定されている。本条例施行後は、

本条例の第9条第3項の規定にあるとおり、県条例に合致すれば申請を行っていく。

問 厚木市の里地里山全体を保全する観点での考えは。

答 本条例は、生物多様性あつぎ戦略を具体的に進めるための取り組みの一環であり、保全すべき里地里山のエリアで活動する団体との協定を支援するとともに、県条例と連携して、そういった団体を増やすことを考えている。このほか、農業や林業の面からも、総体的に里地里山の保全を図っていく。

問 公民館維持補修事業費増の内容は。

答 消防設備点検や公共建築物定期点検により、部品交換などの必要があるため、指摘されたものについて対応する。問 設備点検などは定期的にを行うものであるが、予想できなかったのか。

答 法定点検時に修繕箇所の指摘を受けるため、当初予算の査定時には判明しないこと、また、設置している場所や環

都市経済

○厚木市立あつぎ市民交流プラザ条例について

問 学生が会議室などを使用する場合の使用料は、半額や免除となるか。

答 この条例により集約化する施設の中には、ヤングコミュニティセンターがある。現在、青少年に関する使用料の減免措置があり、無料となっている。この条例では規定していないが、青少年や学生などについては、内規などにより半額の使用料で使用できるよう調整している。

問 建設内の貸ロッカーを設置すると聞かすが、特定の団体が占有することがないように考えているか。

答 意見交換会や利用者などの意見を反映し、貸ロッカーを設置することとした。ロッカーの使用期間は他市の事例などを参考に半年間とし、公平な利用を図るため、抽選により利用者を決定する予定である。

問 建物の取得後、フロア構成など中身の形が変わっているが、現在、テナントの誘致はどのようになっているのか。

答 アミューあつぎの地下1階から地上4階までの商業フロアについては、21の区画を設定し、テナント誘致を進めている。現時点での状況は、床面積でいうと80%強の部分について、テナント

がほぼ決定している。

○厚木市営自動車駐車場指定管理者の指定について

問 これまでの駐車場の利用状況は。

答 利用料金については、平成22年度が1億800万円、23年度が1億2000万円、24年度が1億2100万円と伸びている。25年度の10月までの状況は、24年度を10%近く上回る売り上げがあり、台数も着実に伸びている。

病院特別委員会

12月定例会終了後、厚木市立病院特別委員会が開かれ、執行機関から、厚木市立病院建設工事の進捗状況などについて説明がありました。説明後の委員の主な質疑と執行機関の答弁を紹介します。

問 免震工事の関係だが、市役所本庁舎の免震装置との違いは何か。

答 免震装置については、市役所本庁舎のものとはほぼ同等であるが、今回は免震装置に加え、より地震力の低減ができる装置としてオイルダンパーを設置する。

問 市立病院の場所は、地盤の悪い場所であるが、今回の工事の深さは、地盤の強固なところまでいっているのか。

答 直径約2.2mの杭が、深さ約20mの支持層まで達している。今回の工事では、支持層まで達している現場造成杭とマットスラブ(耐圧盤)で建物を支える計画としている。

問 地中埋設物の関係で神奈川県と平成25年9月から11月まで、3回打合せをしているが、その内容は。また、打合せ後の状況はどのようになっているか。

答 これまでに行った県との協議は、今後の交渉を行うため、地中埋設物などの事実関係について、正確な情報を基に両者が、その事実を認識するということを目的とする打ち合わせである。これからは、県と地中埋設物の撤去に要した費用などの賠償額について折衝していく予定である。

本会議の審議結果

12月定例会提出案件		各会派の賛否 ○…賛成、●…反対、▲…退席										議決結果
		改革	みらい	公明党	共産党	市政ク	民主ク	市民	新政会	ネット	子育て	
議案第73号	厚木市客引き行為等防止条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第74号	厚木市里地里山保全等促進条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第75号	厚木市立あつぎ市民交流プラザ条例について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
議案第76号	厚木市立情報プラザ条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第77号	厚木市立子ども科学館条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第78号	厚木市自転車の放置防止に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第79号	厚木市公共下水道使用料条例の一部を改正する条例について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
議案第80号	厚木市市営住宅条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第81号	厚木市学校事故見舞金条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第82号	工事請負契約の変更について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
議案第83号	厚木市ふれあいプラザ指定管理者の指定について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
議案第84号	厚木市営自動車駐車場指定管理者の指定について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
議案第85号	平成25年度厚木市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
議案第86号	平成25年度厚木市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
陳情第20号	平成26年度における重度障害者医療費助成制度継続についての陳情	●	●	●	○	●	●	○	●	○	○	不採択
陳情第21号	平成26年度における障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援についての陳情	●	●	●	○	●	●	○	●	●	●	不採択
陳情第22号	安全・安心の医療・介護の実現と医師・看護師等の夜勤改善と大幅な増員を求める意見書を国に提出することを求める陳情	●	●	●	○	●	●	○	●	●	●	不採択
陳情第23号	介護職員の処遇改善を求める意見書を国に提出することを求める陳情	●	●	●	○	●	●	○	●	●	●	不採択
陳情第24号	新ごみ中間処理施設を金田地区に建設することに反対する陳情	●	●	●	●	▲	●	●	●	●	●	不採択
陳情第25号	厚木市の下水道使用料改定に反対する陳情	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※不採択
陳情第26号	介護保険制度の保険給付から「要支援1・2」を外さないことを求める意見書を国に提出することを求める陳情	●	●	●	○	●	●	○	●	○	○	不採択
陳情第27号	子宮頸がんワクチン接種を一時中止し、副反応の追跡調査と被害者の救済を求める意見書を国に提出することを求める陳情	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	不採択
陳情第29号	厚木市立情報プラザ条例改正についての陳情	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択

※陳情第25号は、議案第79号の可決に伴い、不採択とみなしました。
 ◎「請願第1号 新聞購読料へ消費税軽減税率を適用することを求める意見書を国に提出することを求める請願」は、総務企画常任委員長の継続審査の申し出に対し、賛成多数（反対は田上祥子議員、寺岡まゆみ議員、遠藤浩一議員、井上武議員）で継続審査となりました。
 ◎「陳情第12号 公契約条例制定を求める意見書を神奈川県に提出することを求める陳情」は、総務企画常任委員長の継続審査の申し出に対し、賛成多数（反対は田上祥子議員、寺岡まゆみ議員、遠藤浩一議員、石井恒雄議員、井上敏夫議員）で継続審査となりました。
 ◎陳情第28号は、平成25年11月28日開催の議会運営委員会にて協議した結果、本会議に上程せず、全議員に配付することとなりました。
 ◎平成25年12月20日議決時の会派構成など
 ※議長…川口仁（議長は採決に加わりません）、副議長…越智一久
 ※会派表記、正式名称、議員数、所属議員（ は代表者）
 改革…改革あつぎ（7）：小島一郎、松本樹影、松前進、高田浩、石井芳隆、太田洋、徳間和男
 みらい…あつぎみらい（7）：松田則康、瀧口慎太郎、渡辺貞雄、難波達哉、越智一久、神子雅人、沼田幸一 公明党…公明党厚木市議員団（4）：田上祥子、寺岡まゆみ、遠藤浩一、川口仁
 共産党…日本共産党厚木市議員団（2）：釘丸久子、栗山香代子 市政ク…市政クラブ（2）：石井恒雄、井上敏夫（陳情第24号退席） 民主ク…民主クラブ（2）：名切文梨、古川環
 市民…あつぎ市民の党（1）：奈良握 新政会…新政会（1）：井上武 ネット…神奈川ネットワーク運動（1）：内川由喜子 子育て…子育て応援（1）：泉修

第4回議会報告会を開催しました

第4回議会報告会は11月14日と16日の2日間、公民館など4カ所で開催し、4会場合わせて175人の方に参加していただきました。
 報告会では、9月定例会で議案となった平成24年度決算の審査概要と、会場となった地域の話題などを報告。それぞれの会場を議員28人が4班に分かれて担当し、プロジェクターを使用した報告をするなど、各班で工夫を凝らした説明をしたほか、参加者との意見交換を実施しました。
 第5回議会報告会は、5月の中旬ごろに予定しています。詳細が決まりましたら、議会だよりやホームページでお知らせします。



▲14日、小鮎公民館



▲14日、玉川公民館



▲16日、睦合西公民館



▲16日、荻野運動公園

2月定例会の開催予定

- **本会議**
 2月24日(月)・25日(火)……議案等質疑
 3月3日(月)～5日(水)……一般質問
 3月20日(木)……委員長報告・討論・採決
 - **常任委員会**
 総務企画…3月7日(金) 市民福祉…3月10日(月)
 環境教育…3月11日(火) 都市経済…3月12日(水)
 - ◆ **特別委員会**
 厚木市立病院特別委員会……3月20日(木)(本会議など終了後)
 広報広聴特別委員会……3月20日(木)(本会議など終了後)
- ※開会は、原則として午前9時です。傍聴は、本庁舎5階ロビーで受け付けます

市議会では、インターネットによる本会議・常任委員会・特別委員会の生中継と録画放映を実施しています。
 「生中継」は、会議の様様をそのまま中継。「録画放映」は、日程や議員名などから検索できます。
 ご覧になるには、ホームページアドレス(1面下)を入力、または